

果樹カメムシ類情報第2号

平成30年5月25日
愛知県農業総合試験場
環境基盤研究部病害虫防除室

新城市の予察灯で5月第3半旬に、
豊橋市の予察灯で5月第4半旬に誘殺数が急増！
来週にかけて気温が高くなるため、果樹園への飛来に注意してください！

1 チャバネアオカメムシの発生状況

- (1) 新城市に設置した予察灯で5月第3半旬に75頭、豊橋市に設置した予察灯で5月第4半旬に427頭誘殺され、過去10年間で最も多い状況です(図1、2)。
- (2) 名古屋地方气象台5月24日発表1か月予報では、1週目(5月26日～6月1日)の気温は高いと予想されており、気温の上昇とともに活動がさらに活発になり、平坦部の果樹園に多飛来することが予測されます。

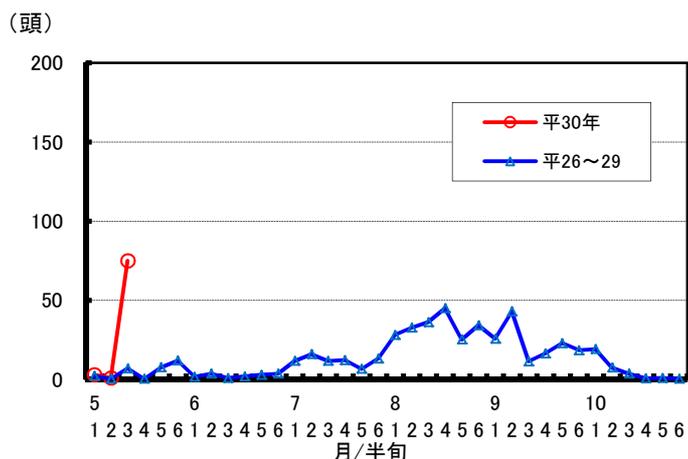


図1 新城市の予察灯における
チャバネアオカメムシの誘殺状況

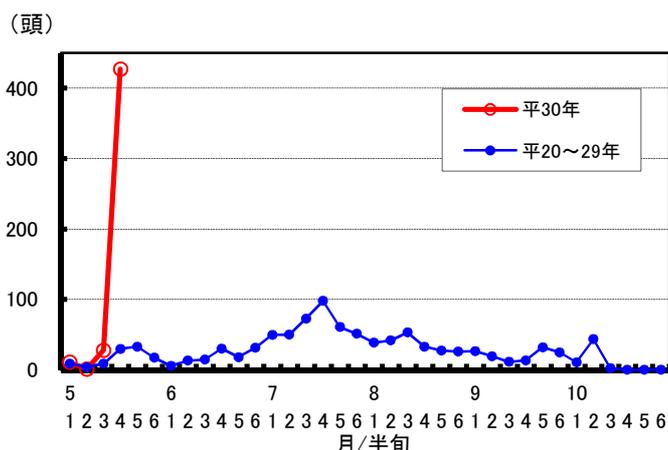


図2 豊橋市の予察灯における
チャバネアオカメムシの誘殺状況

2 防除対策

- (1) カメムシ類は、風がなく気温の高い夜に果樹園に飛来しやすいので、ほ場での成虫の飛来を確認しましょう。
- (2) カメムシ類は局地的に飛来して、集中して加害する傾向があります。また、園地間差が大きいので、過去にカメムシ類の被害が多かった園では特に注意しましょう。
- (3) 越冬世代成虫量が多い年は飛来が長期間続くので、飛来を確認したら、平成30年4月3日発表の「平成30年度病害虫発生予察注意報第1号」を参考に、残効の長いネオニコチノイド剤もしくは合成ピレスロイド剤を散布しましょう。
- (4) チャバネアオカメムシに果実を吸汁されると、小ウメや幼果期のモモは落果し、大粒種のウメや幼果期以降のモモでは吸汁痕が残ります。また、ナシやブドウでは、加害部が陥没し、品質が低下します。袋かけをする場合は、なるべく早く行いましょう。